



SCM820

Command Strings

Third-party commands for Shure SCM820
Version: 3.1 (2021-D)

Table of Contents

SCM820 Command Strings	3	オーディオコマンド	5
外部コントローラーのコマンド文字列	3	チャンネルコマンド	7
チャンネル	3	デジタル信号処理コマンド	8
デバイスコマンド	3	監視コマンド	12
		エラーコード	15

SCM820 Command Strings

外部コントローラーのコマンド文字列

SCM820ミキサーはイーサネットを経由してAMX[®]、Crestron[®]、Extron[®]などのコントロールシステムに接続されます。

- 接続：イーサネット（TCP/IP。AMX/Crestronプログラムで[Client]を選択）
- ポート：2202

SCM820には、以下の4種類の文字列があります。

1. GET - GETコマンドは、パラメーターのステータスを取得するために使用します。AMX/CrestronがGETコマンドを送信した後、SCM820がREPORT文字列で応答します。
2. SET - SETコマンドは、パラメーターのステータスを変更するために使用します。AMX/CrestronがSETコマンドを送信した後、SCM820が、パラメーターの新しい値を示すREPORT文字列で応答します。
3. REP - SCM820は、GETコマンドまたはSETコマンドを受信すると、パラメーターのステータスを示すREPORTコマンドで応答します。また、REPORTは、フロントパネルまたはGUIでパラメーターが変更された場合に、MXWシステムによって送信されます。
4. SAMPLE - オーディオレベルのメーター表示に使用されます。

送受信されるメッセージはすべてASCIIです。レベルインジケータとゲインインジケータもASCIIです。これらのパラメーターのいずれかが変更されると、SCM820はREPORTコマンドを送信します。

注：このドキュメントが最も一般的なコマンドです。この他にも多くのコマンドが利用可能です。他のパラメーターを制御/監視する必要がある場合は、support@shure.comまでご連絡くだされば、サポートいたします。

Crestronマクロ（Shureが作成したものは、[こちらからダウンロードできます](#)）。

チャンネル

以下のすべての文字列の中の文字「x」は、ミキサーのチャンネルを表し、以下の表に示されているように、0~19のASCII番号となります。

ASCII文字	SCM820チャンネル
0	すべてのチャンネル
1~8	入力チャンネル
9	Aux入力
10~17	ダイレクト出力
18	出力A
19	出力B

デバイスコマンド

デバイスIDの表示	コマンド文字列：	< GET DEVICE_ID >	デバイスIDコマンドにチャンネル文字Xは含まれません。これはIDがデバイス全体に付くためです。
	SCM820の応答：	< REP DEVICE_ID {yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy}>	yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyは31文字のデバイスIDです。SCM820は、常に31文字のデバイスIDで応答します。
デバイスIDの設定	コマンド文字列：	< SET DEVICE_ID {yyyyyyyy} >	yyyyyyyyはデバイスIDの31文字です。デバイスIDの長さは1~31文字です。
	SCM820の応答：	< REP DEVICE_ID {yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy}>	yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyは31文字のデバイスIDです。SCM820は、常に31文字のデバイスIDで応答します。
SCM820のライトを点滅させる	コマンド文字列：	< SET FLASH ON > < SET FLASH OFF >	これらのコマンドのいずれかをSCM820に送信します。点滅は60秒後に自動的にオフになります。
	SCM820の応答：	< REP FLASH ON > < REP FLASH OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
自動リンクモードを設定する	コマンド文字列：	< SET AUTO_LINK_MODE ON > < SET AUTO_LINK_MODE OFF >	この一連のコマンドは、チャンネルを強制的にオンにします。これがオフの場合、チャンネルは通常、オートミックスモードになります。 ミックスAとミックスBには異なるコマンドがあります。ミックスに応じて、これらのコマンドのいずれかを送信してください。
	SCM820の応答：	< REP AUTO_LINK_MODE ON > < REP AUTO_LINK_MODE OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
自動リンクモードを取得する	コマンド文字列：	< GET AUTO_LINK_MODE >	
	SCM820の応答：	< REP AUTO_LINK_MODE ON >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。

< REP AUTO_LINK_MODE OFF >

オーディオコマンド

オーディオゲインを取得する	コマンド文字列：	< GET x AUDIO_GAIN_HI_RES >	xはASCIIのチャンネル番号： 0、1~9、18~19（チャンネル表を参照）。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_GAIN_HI_RES yyyy >	yyyyは0000~1280のASCII値 です。yyyyは0.1 dBステップ の値となります。
オーディオゲインを設定する	コマンド文字列：	< SET x AUDIO_GAIN_HI_RES yyyy >	yyyyは0000~1280のASCII値 です。yyyyは0.1 dBステップ の値となります。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_GAIN_HI_RES yyyy >	yyyyは0000~1280のASCII値 です。
オーディオゲインをn dB増加させる	コマンド文字列：	< SET x AUDIO_GAIN_HI_RES INC nn >	nnは0.1 dB単位でのゲイン増 加量です。nnは1桁 (n)、2 桁 (nn)、または3桁 (nnn) にすることができます。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_GAIN_HI_RES yyyy >	yyyyは0000~1280のASCII値 です。
オーディオゲインをn dB減少させる	コマンド文字列：	< SET x AUDIO_GAIN_HI_RES DEC nn >	nnは0.1 dB単位でのゲイン減 少量です。nnは1桁 (n)、2 桁 (nn)、または3桁 (nnn) にすることができます。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_GAIN_HI_RES yyyy >	yyyyは0000~1280のASCII値 です。
音声ミュートを取得	コマンド文字列：	< GET x AUDIO_MUTE >	xはASCIIのチャンネル番号： 0、1~9、18~19（チャンネル表を参照）。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_MUTE ON >	SCM820は、これらのいずれ かの文字列で応答します。

		< REP x AUDIO_MUTE OFF >	
音声をミュート	コマンド文字列:	< SET x AUDIO_MUTE ON >	
	SCM820の応答:	< REP x AUDIO_MUTE ON >	
ミュートを解除	コマンド文字列:	< SET x AUDIO_MUTE OFF >	
	SCM820の応答:	< REP x AUDIO_MUTE OFF >	
音声ミュートをトグルする	コマンド文字列:	< SET x AUDIO_MUTE TOGGLE >	
	SCM820の応答:	< REP x AUDIO_MUTE ON > < REP x AUDIO_MUTE OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
入力オーディオミックスバス	コマンド文字列:	< SET x INPUT_AUDIO_MIX_BUS sts > < GET x INPUT_AUDIO_MIX_BUS >	xはチャンネルを表しており、0、1~8 (入力チャンネルの場合)、9 (Aux入力の場合) の値をとります stsは目的の設定を表しており、次の値をとります: MIXBUS_A MIXBUS_B 両方 どちらでもない
	SCM820の応答:	< REP x INPUT_AUDIO_MIX_BUS sts > < REP ERR >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。

チャンネルコマンド

チャンネル名を表示	コマンド文字列：	< GET x CHAN_NAME >	xはASCIIのチャンネル番号：0～19。
	SCM820の応答：	< REP x CHAN_NAME {yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy} >	yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyは31文字のユーザー名です。SCM820は常に31文字の名前で応答します。
チャンネル名を設定	コマンド文字列：	< SET x CHAN_NAME {yyyyyyyy} >	yyyyyyyyは31文字のチャンネル名となります。チャンネル名は1～31文字の長さにすることができます。各チャンネルは別の名前であればなりません。
	SCM820の応答：	< REP x CHAN_NAME {yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy} >	yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyは31文字のチャンネル名です。SCM820は常に31文字の名前で応答します。
チャンネルを強制的にオンを取得	コマンド文字列：	< GET x ALWAYS_ON_ENABLE_A > < GET x ALWAYS_ON_ENABLE_B >	この一連のコマンドは、チャンネルを強制的にオンにします。これがオフの場合、チャンネルは通常、オートミックスモードになります。 ミックスAとミックスBには異なるコマンドがあります。ミックスに応じて、これらのコマンドのいずれかを送信してください。
	SCM820の応答：	< REP x ALWAYS_ON_ENABLE_A OFF > < REP x ALWAYS_ON_ENABLE_B OFF > < REP x ALWAYS_ON_ENABLE_A ON > < REP x ALWAYS_ON_ENABLE_B ON >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
チャンネルを強制的にオンを設定	コマンド文字列：	< SET x ALWAYS_ON_ENABLE_A OFF > < SET x ALWAYS_ON_ENABLE_A ON >	この一連のコマンドは、チャンネルを強制的にオンにします。これがオフの場合、チャンネルは通常、オートミックスモードになります。 ミックスAとミックスBには異なるコマンドがあります。ミックスに応じて

		<pre>< SET x ALWAYS_ON_ENABLE_A TOGGLE > < SET x ALWAYS_ON_ENABLE_B OFF > < SET x ALWAYS_ON_ENABLE_B ON > < SET x ALWAYS_ON_ENABLE_B TOGGLE ></pre>	<p>て、これらのコマンドのいずれかを 送信してください。</p>
	SCM820の応答：	<pre>< REP x ALWAYS_ON_ENABLE_A OFF > < REP x ALWAYS_ON_ENABLE_B OFF > < REP x ALWAYS_ON_ENABLE_A ON > < REP x ALWAYS_ON_ENABLE_B ON ></pre>	<p>SCM820は、これらのいずれかの文 字列で応答します。</p>
入力オーディオソース	コマンド文字列：	<pre>< GET x INPUT_AUDIO_SOURCE > < SET y INPUT_AUDIO_SOURCE source ></pre>	<p>xはチャンネル番号 (0~9) です yはチャンネル番号 (1~9) です sourceは目的のソースを表してい ます： アナログ ネットワーク</p>
	SCM820の応答：	<pre>< REP y INPUT_AUDIO_SOURCE source ></pre>	<p>チャンネル10~19についてはエラー を返します</p>

デジタル信号処理コマンド

IntelliMix [®] モードを設定	コマンド文字列：	<pre>< SET x INTELLIMIX_MODE CLASSIC > < SET x INTELLIMIX_MODE SMOOTH > < SET x INTELLIMIX_MODE EXTREME > < SET x INTELLIMIX_MODE CUSTOM ></pre>	<p>xはASCIIのチャンネル番号 (18~19) です。 これらのコマンドの1つのみ を送信します。</p>
--------------------------------	----------	---	--

		<p>< SET x INTELLIMIX_MODE MANUAL ></p> <p>< SET x INTELLIMIX_MODE CUSTOM_PRESET ></p>	
	SCM820の応答 :	<p>< REP x INTELLIMIX_MODE CLASSIC ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE SMOOTH ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE EXTREME ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE CUSTOM ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE MANUAL ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE CUSTOM_PRESET ></p>	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
IntelliMixモードを取得	コマンド文字列 :	< GET x INTELLIMIX_MODE >	xはASCIIのチャンネル番号 (18~19) です。
	SCM820の応答 :	<p>< REP x INTELLIMIX_MODE CLASSIC ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE SMOOTH ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE EXTREME ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE CUSTOM ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE MANUAL ></p> <p>< REP x INTELLIMIX_MODE CUSTOM_PRESET ></p>	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
DFR 1割り当てを設定	コマンド文字列 :	< SET DFR1_ASSIGNED_CHAN x >	xはASCIIのチャンネル番号 (1~8、18~19) です (チャンネル表を参照)。割 り当てのない場合、xは20で す。

	SCM820の応答：	< REP DFR1_ASSIGNED_CHAN xxx >	xはASCIIのチャンネル番号 (001~008、018~019)で す (チャンネル表を参照)。 割り当てのない場合、xは 020です。
DFR 2割り当てを設定	コマンド文字列：	< SET DFR2_ASSIGNED_CHAN x >	xはASCIIのチャンネル番号 (1~8、18~19) です (チャンネル表を参照)。割 り当てのない場合、xは20で す。
	SCM820の応答：	< REP DFR2_ASSIGNED_CHAN xxx >	xはASCIIのチャンネル番号 (001~008、018~019)で す (チャンネル表を参照)。 割り当てのない場合、xは 020です。
DFR 1割り当てを取得	コマンド文字列：	< GET DFR1_ASSIGNED_CHAN >	
	SCM820の応答：	< REP DFR1_ASSIGNED_CHAN xxx >	xはASCIIのチャンネル番号 (001~008、018~019)で す (チャンネル表を参照)。 割り当てのない場合、xは 020です。
DFR 2割り当てを取得	コマンド文字列：	< GET DFR2_ASSIGNED_CHAN >	
	SCM820の応答：	< REP DFR2_ASSIGNED_CHAN xxx >	xはASCIIのチャンネル番号 (001~008、018~019)で す (チャンネル表を参照)。 割り当てのない場合、xは 020です。
DFR 1バイパスを設定	コマンド文字列：	< SET DFR1_BYPASS ON > < SET DFR1_BYPASS OFF >	いずれかのコマンドを SCM820に送信します。
	SCM820の応答：	< REP DFR1_BYPASS ON > < REP DFR1_BYPASS OFF >	SCM820は、これらのいづれ かの文字列で応答します。
DFR 2バイパスを設定	コマンド文字列：	< SET DFR2_BYPASS ON > < SET DFR2_BYPASS OFF >	いずれかのコマンドを SCM820に送信します。

	SCM820の応答：	< REP DFR2_BYPASS ON > < REP DFR2_BYPASS OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
DFR 1バイパスを取得	コマンド文字列：	< GET DFR1_BYPASS >	
	SCM820の応答：	< REP DFR1_BYPASS ON > < REP DFR1_BYPASS OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
DFR 2バイパスを取得	コマンド文字列：	< GET DFR2_BYPASS >	
	SCM820の応答：	< REP DFR2_BYPASS ON > < REP DFR2_BYPASS OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
DFR 1フィルターをクリア	コマンド文字列：	< SET DFR1_CLEAR_ALL_FILTERS ON >	OFFコマンドを送信する必要はありません
	SCM820の応答：	< REP DFR1_CLEAR_ALL_FILTERS ON >	
DFR 2フィルターをクリア	コマンド文字列：	< SET DFR2_CLEAR_ALL_FILTERS ON >	OFFコマンドを送信する必要はありません
	SCM820の応答：	< REP DFR2_CLEAR_ALL_FILTERS ON >	
DFR 1フリーズを設定	コマンド文字列：	< SET DFR1_FREEZE ON > < SET DFR1_FREEZE OFF >	いずれかのコマンドをSCM820に送信します。
	SCM820の応答：	< REP DFR1_FREEZE ON > < REP DFR1_FREEZE OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。

DFR 2フリーズを設定	コマンド文字列：	< SET DFR2_FREEZE ON > < SET DFR2_FREEZE OFF >	いずれかのコマンドをSCM820に送信します。
	SCM820の応答：	< REP DFR2_FREEZE ON > < REP DFR2_FREEZE OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
DFR 1フリーズを取得	コマンド文字列：	< GET DFR1_FREEZE >	
	SCM820の応答：	< REP DFR1_FREEZE ON > < REP DFR1_FREEZE OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
DFR 2フリーズを取得	コマンド文字列：	< GET DFR2_FREEZE >	
	SCM820の応答：	< REP DFR2_FREEZE ON > < REP DFR2_FREEZE OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。

監視コマンド

ゲートステータスを取得、ミックスA	コマンド文字列：	< GET x INPUT_AUDIO_GATE_A >	xはASCIIのチャンネル番号： 0~8 (チャンネル表を参照)。 このコマンドを継続して送信する必要はありません。 SCM820はステータスが変わると必ずREPORTメッセージを送信します。
	SCM820の応答：	< REP x INPUT_AUDIO_GATE_A ON > < REP x INPUT_AUDIO_GATE_A OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
ゲートステータスを取得、ミックスB	コマンド文字列：	< GET x INPUT_AUDIO_GATE_B >	xはASCIIのチャンネル番号： 0~8 (チャンネル表を参照)。

			このコマンドを継続して送信する必要はありません。 SCM820はステータスが変わると必ずREPORTメッセージを送信します。
	SCM820の応答：	< REP x INPUT_AUDIO_GATE_B ON > < REP x INPUT_AUDIO_GATE_B OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
発動中のリミッターステータスを取得	コマンド文字列：	< GET x LIMITER_ENGAGED >	xはASCIIのチャンネル番号：0、18~19（チャンネル表を参照）。 このコマンドを継続して送信する必要はありません。 SCM820はステータスが変わると必ずREPORTメッセージを送信します。
	SCM820の応答：	< REP x LIMITER_ENGAGED ON > < REP x LIMITER_ENGAGED OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。
入力クリップステータスを取得	コマンド文字列：	< GET x AUDIO_IN_CLIP_INDICATOR >	xはASCIIのチャンネル番号：0~9（チャンネル表を参照）。 このコマンドを継続して送信する必要はありません。 SCM820はステータスが変わると必ずREPORTメッセージを送信します。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_IN_CLIP_INDICATOR ON > < REP x AUDIO_IN_CLIP_INDICATOR OFF >	SCM820は、これらのいずれかの文字列で応答します。

出力クリップステータス を取得	コマンド文字列：	< GET x AUDIO_OUT_CLIP_INDICATOR >	xはASCIIのチャンネル番号： 10~19（チャンネル表を参 照）。 このコマンドを継続して送信 する必要はありません。 SCM820はステータスが変わ ると必ずREPORTメッセージ を送信します。
	SCM820の応答：	< REP x AUDIO_OUT_CLIP_INDICATOR ON > < REP x AUDIO_OUT_CLIP_INDICATOR OFF >	SCM820は、これらのいづれ かの文字列で応答します。
メーターをオンにする	コマンド文字列：	< SET METER_RATE sssss >	sssssはメーター応答速度 (単位はミリ秒) です。 設定sssssが0のとき、メー ターはオフになります。最小 の設定は100ミリ秒です。初 期設定ではメーターはオフに なっています。
	SCM820の応答：	< REP METER_RATE sssss > < SAMPLE aaa bbb ccc ddd eee fff ggg hhh iii jjj kkk lll mmm nnn ooo ppp qqq rrr sss >	aaaやbbbなどは受信したオー ディオレベルの値 (000~ 120) です。 aaa = input 1 bbb = input 2 ccc = input 3 ddd = input 4 eee = input 5 fff = input 6 ggg = input 7 hhh = input 8 iii = aux input jjj = direct out 1 kkk = direct out 2

			<i>lll = direct out 3</i> <i>mmm = direct out 4</i> <i>nnn = direct out 5</i> <i>ooo = direct out 6</i> <i>ppp = direct out 7</i> <i>qqq = direct out 8</i> <i>rrr = mix out A</i> <i>sss = mix out B</i>
メーターを停止する	コマンド文字列：	< SET METER_RATE 0 >	値は00000とも入力できます。
	SCM820の応答：	< REP METER_RATE 00000 >	

エラーコード

コマンドが実装できないことを示す< REP ERR >エラー文字列もあります。これは通常、タイプミスや存在しないコマンドが原因です。